



## 平成 30 年桜を見る会 (新宿御苑)

(4 月のごあいさつ)  
平成 30 年 4 月 23 日 (月)

目の前に、**安倍総理の笑顔**があった。4 月 21 日(土)、午前 9 時 50 分頃である。

その日の**新宿御苑**は快晴で、まぶしい太陽と夏を想わせる暑さの中で 1 時間余り待っていた。入苑するのに 20 分以上もかかり、入口の方は**人出がものすごく近づけない**。半ばあきらめて、裾の方がすいているのではと思い、末尾の近くで、とにかく最前列に居た。

両側に綱のはられた通り路を、1m90 に近い背が高く、歩き方も**敏捷そうな多勢の SP** が行き来するのを珍しい感じで眺めていた。1 時間余りたった頃 SP の姿が増え、あたりがにわかに賑やかになって、押さないで押さないでという整理の人の声の中、10 数人の SP が一列になって綱の前まで来た。**はっと前を見ると、唯一人青いスーツの SP の一人のように、安倍総理が笑顔で、安倍さん!!の喚声**の中、立ち止まり、手を振っていた。喚声は向い側へ移って、記念撮影をしたり、知りあいと思われる方々と会話しながら、賑やかな雰囲気**で末尾の方へ移動**するのを眺めていた。すると、昭恵夫人の列が、目の前で笑顔でタッチをしたり、話しかけながら**キャーキャーという喚声**の中を通りすぎて行った。安倍総理夫妻の若々しさは気持が良かった。

もう、終了の午前 10 時に近かった。中央の通路が混雑してきた。そろそろ帰ろうと思った頃、SP 数 10 人のかたまりが、入口へ向って**駆けてきた**。その中に**青いスーツ姿の安倍総理**もあった。いつか、ロシアのプーチン大統領との会談に遅れた駆け足を TV で見たときのことを思い出した。

帰りの飛行機の中でニュースを見ていると、その日の風景が写し出された。人出の多さ、最初のお詫びの演説、各通路での記念撮影やパフォーマンスなど、多くの芸能人などを見ながら、こんなに多勢の人が来ていたのか、偶然にも、入口からはるか離れた末尾近くにいたのが幸運だったなあーと感じた。

こんな素晴らしい招待を、お世話していただいた沖縄総合事務局財務部の方々に心から感謝したい。